

平成21年度コミュニティ・スクール推進協議会 実践発表資料

(ふりがな)	(はぎしりつ ちんぜい しょうがっこう)									
学校名	萩市立椿西小学校									
(ふりがな)	(はぎし おおあざ つばき)									
所在地	山口県萩市大字椿3332番地1									
電話番号	0838(25)2686			FAX番号	0838(25)2695					
学級数		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計	
		2	2	2	1	2	2	1	12	
児童・生徒数		43	51	37	36	47	52		266	
	(特支)	0	0	0	1	0	0		1	
教職員数	20人	学校運営協議会を置く学校として指定された年月日				平成18年4月1日				
学校運営協議会の 委員数・構成	19人	内 地域代表10人、保護者代表5人、教職員4人、 大学教授等有識者0人								
	学校運営協議会代表者(会長等): 地域代表									
その他	平成17年度・18年度 文部科学省 コミュニティ・スクール推進事業 調査研究指定校									

(平成21年7月23日時点)

I 学校運営協議会設置までの経緯、設置後の改善状況

1. 「学校運営協議会を置く学校(コミュニティ・スクール)」指定前の状況

- 総合的な学習の時間での栽培活動を支援する「田んぼの会」(農業従事者を中心としたおやじの会:平成6年度より活動)や、朝読書の時間に各学級に出向いて読み聞かせを行う「本読み姫」(保護者を中心とした読み聞かせボランティア:平成7年度より活動)など、長年、学校教育を支援してきたグループが存在していた。
特に、田園地域である特徴を生かして、子どもたちに、田植え、稲刈り、野菜栽培などの農業体験をさせたいという願いは、学校、保護者、地域の共通のものであり、三者が協力して取り組んできたことは、学校の大きな特色となっていた。
- 保護者、学校評議員から、「椿西小はあいさつを目標にしているが、地域の中でのあいさつができていない。」「子どもの言葉遣いが気になる。学校と家庭で協力して取り組む必要がある。」などの声が寄せられていたが、なかなか改善できなかった。
- 校舎改築にあわせ、地域開放型の新校舎計画があり検討が重ねられ、新校舎の有効活用が課題であった。

2. 学校運営協議会の設置を決めた理由

- 長年、農業体験や読み聞かせ活動で協力してもらっている方々の願いや声は、地域の学校に対する熱意であり、子どもたちへの愛情であることを踏まえ、学校運営協議会の委員として率直な意見を述べてもらいたかった。

また、学校職員、保護者代表、地域代表を学校運営協議会委員としてバランスよく配置し、保護者代表、地域代表に一定の権限と責任を持ってもらうことで、三者の協働体制をより強めたかった。

- 「地域の子は地域で育てる」という意識を啓発し、地域と協働して具体的な実践に取り組んでいきたくかった。

「あいさつができない」「言葉遣いが悪い」と言うばかりでなく、その改善策を本音で協議し、主体的に働きかけていくという実践を地域で推進し、学校改善につなげていきたくかった。

- 本協議会が中心となって新校舎の地域開放エリアの有効活用方策を企画、運営することで、新校舎の有効活用を具体化させたかった。

また、新校舎完成にあわせて、本協議会設置をうたうことで、「開かれた学校づくり」を進めていくことを保護者や地域に広く啓発したかった。

3. 学校運営協議会の設置方針の決定後から設置までの課題とその対応状況

- 学校運営協議会の権限に関する具体的なすり合わせ

⇒ 人事に関する意見の申し出は、市教育委員会による校長に対するヒアリングとは別に、学校運営協議会会長が市教育委員会教育長に直接、意見を述べる場を設定することとした。その手続きは、規則に盛り込んだ。

- 教職員の意識啓発と共通理解

教職員から、「学校と学校運営協議会は、どっちが上なのか。基本方針の承認が得られない場合は、どうなるのか。」「個別の人事に関して、事情を把握していない地域の人が意見を言うのは疑問だ。」などの声があがり、コミュニティ・スクールに対する理解度に個人差があるため、教職員の意識啓発と共通理解が必要となった。

⇒ 『コミュニティ・スクール設置の手引き』（平成18年1月文部科学省）や平成17年度のコミュニティ・スクール推進フォーラム資料を参考にして、校内研修会を持ち、十分な意見交換を行い、共通理解を図った。

- 学校運営協議会委員になることへの不安

前年度末のコミュニティ・スクール推進委員会（学校評議員会）で、そのままのメンバーを学校運営協議会委員として依頼したところ、「責任があるから無理だ。」と断られる方があった。コミュニティ・スクールに関する情報提供を受け、先進校視察を終えた上での意思表示だった。学校運営に関して一定の権限と責任を持つことへの重大さと、それゆえの不安感によるものと受け止めた。

⇒ 学校から、「円滑な移行をしたいこと」「今まで以上に地域の声を学校改善に反映したいこと」を話し、他のメンバーからも、「一緒に盛り立てていこう。学校のためになるのだから、やりましょう。」との発言もあったが、その場での委員決定は保留となった。幸いに、後日、正式な依頼に対しては承諾となった。

4. 学校運営協議会が学校や教育委員会に対してこれまでに提案してきた主な意見等

【学校運営の基本的な方針に対するもの】

- 子どもたちに、地域のよさを学んでほしいという願いのこもった学校教育目標にしてほしい。

【学校運営に関する事項に対するもの】

- 椿西校区という地域のよさを、子どもたちが実感として味わってもらいたい。そんな活動をどんどん取り入れてほしい。
- 新校舎が旧校舎とは別の場所にでき、通学路を整備する必要があるため、通学路の安全を確保してほしい。
- 学校、保護者、地域がいっしょになったあいさつ運動を充実させてほしい。

【学校の職員の採用その他の任用に関する事項に対するもの】

- 社会教育主事資格を持ち、社会教育に関する経験豊富な教員の転入により、本協議会が提案する活動内容を充実させたり、新鮮な企画を提案してほしい。

5. 学校運営協議会が提案した意見を踏まえた、学校や教育委員会の具体的な取組

【学校運営に関すること】

- 19年度学校教育目標に、地域に関する箇所を盛り込んだ。
18年度「明るいあいさつ、輝く笑顔の椿西っ子を育成する。」
↓
19年度「よく学びよく考え、元気いっぱい、ふるさとに笑顔輝く椿西っ子を育てる。」
- 新校舎への通学開始後、2年がかりとなったが、市教育委員会に新たな通学路を整備してもらった。川に面して危険であったため、手すり付きの舗装路となった。

【教育活動に関すること】

- 地域の方々の協力を得た栽培活動、ゲストティーチャーとの授業実践の他、地域に出向いての活動を積極的に行った。

(例)

- ・ 地域の方々の教育活動への参加
どろんこ遊び、田植え、稲刈り、アサガオ苗植え、トウモロコシ収穫、戦争体験を聞く授業、乳幼児とのふれあい、裁縫指導、茶道クラブなど
- ・ 地域に出向いての活動（地域のイベントへの参加）
萩時代まつり（踊り、展示）、イルミネーションフェスタ（イルミネーションづくり、歌）、子育て祭り（ボランティア）、萩駅前の花壇の花植え、敬老会での紙芝居の発表など
- 学校では、児童会が中心となって「あいさつピカット週間」（あいさつ運動）に取り組み、学校運営協議会委員も定期的に校門に立ちあいさつ運動に取り組んだ。

【教職員の任用に関すること】

- 19年度人事異動で、隣の市から社会教育主事経験のある40代の教員が転入してきた。本協議会が要望する教育活動の企画、運営に熱心に関わり大きな力となっている。

6. 学校運営協議会の設置後に感じられる変化（成果）

【学校（教職員）側】

- 学校運営協議会設置当初は、コミュニティ・スクールの指定を受けて教育活動がどのように変化していくのか不安な面も多かったが、地域とかがわってきたこれまでの取組を基盤にしながら、無理なく深化・充実・発展させていったことにより、不安は徐々に解消できた。
- 地域のニーズを把握・反映させるとともに、地域の教育力や地域の創意・工夫を活かした特色ある学校づくりを行うことができた。 ※ 資料2参照
教職員も、地域と協働し、地域とともに歩む学校という意識が高まっている。
- 明るくあいさつの励行、地域での安全な生活や登下校の安全確保、生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ご飯）など、学校運営協議会で出された学校運営に関する気付きや意見をもとに、学校運営を見直し、改善している。
ただ、運営方針全体に対する意見ではなく、前述のあいさつや生活習慣、安全指導など、具体的な事項に対する意見が多いため、校長が提案した学校運営方針が大きく変化するという事はない。
- 学校運営協議会の委員は、意見を言うだけでなく、学校の活動に協力し、児童のために活動を行うという意識をもっている。
そのため、緑化・清掃活動や放課後子ども教室、バザーなど、教職員や児童といっしょに活動することも多く、教職員にとっても気軽に会話やかかわりをもてる身近な存在になっている。 ※ 資料1参照

【教育委員会側】

- 学校運営協議会の設置を契機に、学校としての総合的な教育力向上の可能性に対し、これまで以上に目を向けてくれるようになった。
- 外部の人が校内に入ることに抵抗感をもつ教員の意識改革の必要性を、強く感じるようになった。
- 学校と地域住民等の相互理解のあり方やその方法を、様々な角度から考えていくようになった。
- 地域住民等による多様な協力・支援が、どこの学校でも日常的に無理なくできるような持続性・安定性のある仕組みづくりについて考えるようになった。

【園児・児童・生徒側】

- 地域の事象に関心をもち、知識として詳しくなるだけでなく、地域に誇りと愛情をもつ児童が育っている。
- 地域の方とのかかわりやふれあいを通して、あいさつだけでなく、表現力の向上、社会のルールやマナーを守る意識の向上が見られる。
- 学校運営協議会が児童を対象とした活動や催しを企画することにより、児童は地域の方とのかかわりや表現する力などを伸ばしている。
 - ・ わくわく水曜日 - 毎月第3水曜日の午後、放課後子ども教室として、コミュニティ活性化委員会がさまざまな活動を企画している。 ※ 資料5参照
 - ・ 椿西っ子わくわくステージ - 2学期に行われるコミュニティ参観日（地域の方とかかわる授業、ミニ音楽会、PTAバザー等）で、児童が自分の得意なことをステージで発表する機会を設けた。 ※ 資料6参照

【参考】

コミュニティ・スクールの指定を通して向上した力

（平成21年2月～3月 コミュニティ・スクールに関する実態調査（児童、保護者、地域の方、教職員対象）の結果より）

◎ 身に付いている、力がついている ○ 2年前より特に向上している ▼ 課題が見られる	
【生活習慣】	
◎○	地域の方に対して、明るく元気な声であいさつができるようになった。また、家庭や友達同士でも、あいさつの輪が広がっている。
◎○	朝食については、家庭と連携した取組により、定着している。早寝・早起きは2年前より意識が高まっており、今後、一層推進していくことが大切である。
○	時と場に応じた言葉づかいができるようになってきた。地域の人とのかかわりや地域での活動などで、公共心やマナーが身に付いていると考えられる。
【地域社会・安全】	
◎○	不審者や危険なことへの対応については、家庭や地域の方の見守りや、不審者に対する対応の仕方の訓練などにより、意識が高まっている。
◎▼	交通ルールを守って歩いたり自転車に乗ったりすることについては、意識は高いが、保護者の目から見ると前回調査より悪くなっており、今後、一層指導していくことが大切である。
○	進んで社会のルールやモラルを守ることについては、地域での学習やさまざまな体験、地域の方とのかかわりなどにより、意識が高い。
○	危険な場所に近づいたり危険な場所で遊んだりしないという意識は高いと思われるが、保護者の目から見ると前回調査より若干悪くなっている。
▼	花壇の花や植物を大切にしていることについては、前回調査より数値が悪くなっており、今後、学校や地域で意識を高めていく必要がある。
【学習】	
◎	地域の方との学習や活動が好きな児童が多く、地域の中で、地域について、地域の人にかかわりながら学ぶ学習が定着してきた。
○	自分の思いや考えをはっきりと発表したり話したりすることについては、意識が高くなってきた。特に教職員は表現力の向上を感じている。
○	自分の思いや考え、疑問などをノートなどに書く活動は、向上してきた。
○	椿地区や萩市の自然、歴史、文化などに関心がある、よくわかる、好きな児童が、前回調査と比較すると大幅に増加しており、コミュニティ・スクールの成果が現れている。
▼	読書については、前回調査より数値が若干低くなっており、今後、読書活動の取組を積極的に進めていく必要がある。

【保護者側】

- 学校の教育活動に地域の方がかかわっている時は、保護者にも参加を呼びかけている。その結果、保護者も地域の方とのかかわりが増え、地域への理解がさらに進んできた。
- 児童を見守ってくれる方が多いので安心できるという思いや、児童は地域の方から支えられているという思いを抱く保護者が増えている。
- 学校の活動を支援するボランティア「つばきサポーターズ」に参加する保護者が多く（約1／3の保護者）、児童の様子を知るだけでなく、学校への理解と協力が進んでいる。 ※ 資料4参照

【地域側】

- 学校運営協議会設置前から学校とのかかわりは深く、学校教育に協力的であったが、設置後には、地域と学校のかかわりが体系化され、横（地域の団体や個人間）の連携も密接になってきた。
- 地域の方が学校に来る機会や児童との交流機会が増えたため、学校の教育活動や児童への理解が深まっている。
- 以前は、地域における児童の行動に対して批判的な意見もあったが、「児童がゴミの片付けを手伝ってくれた」「地域の清掃時に一生懸命取り組んでいた」「明るいあいさつができる」など、児童の良い所を見つけ、学校に報告してくれる地域の方が増えてきた。
- 学校の活動を支援する「つばきサポーターズ」に参加する地域の方もおり、児童の様子を知るだけでなく、学校への理解と協力が進んでいる。 ※ 資料4参照

7. 学校運営協議会の設置後に抱えている課題

- コミュニティ・スクール推進事業の調査研究指定時（平成17・18年度）は、学校と地域の連携（活動やかかわり）を実施・活性化するための予算や、地域との連携を中心になって進める人材（加配教員）は確保されていたが、指定が終了した19年度は厳しい状況で、予算はPTA会計から補助をしてもらった。
20年度から学校支援地域本部事業の指定を受け、学校と地域の連携にかかる予算や人材（地域コーディネーター）は確保でき、円滑に運営できている。
しかし23年度以降、上記のような予算や人材は確保できにくいと予想され、学校運営協議会の提案する各種教育活動の運営は不安が多い。
- 学校や地域との連携（活動やかかわり）、学校運営協議会の活動を活性化していくために、いくつかの試みやイベント的なことを行ってきたが、以下のように失敗したもの、継続できなかったものも多い。
 - ・ 保護者や地域の方に学校に来て施設を活用してもらうための「木曜日はコミュニティの日」の実施（施設の開放、地域の方による図書館への駐在）
 - ・ 保護者や地域の方が1日中学校で様々な体験をする「コミュニティ・スペシャルデー」（読み聞かせ、マスコットづくり、児童との遊び、児童との掃除）
 - ・ 学校運営協議会内に設置した3つの委員会「地域部会」「家庭部会」「学校部会」での活動
 - 「地域部会」－ あいさつ運動、クリーン作戦
 - 「家庭部会」－ ノーテレビ・ノーゲームデーの実施、親子料理教室の開催
 - 「学校部会」－ 道徳アンケート（規範意識）の実施、道徳授業の工夫
 - ・ 保護者や地域の方に小学校の授業を体験してもらう「わくわく授業体験」今後、地域の方とのつながりを生かして、学校と地域が協働できる活動を無理なく継続させていくことが課題である。（持続可能な組織づくり）

8. 上記7の課題の解決に向けた今後の取組予定

- 学校と地域の連携（活動やかかわり）を実施・活性化するための予算面、地域との連携を中心になって進める人材面の課題

〔 予算面 〕

教育委員会への要望も考えているが、自治体も財政的にひっ迫しており、23年度以降は厳しい状況になると考えられる。19年度と同様、PTA会計から補助をもらうなど、工夫することを考えている。

〔 人材面 〕

人材面については、現在、「地域コーディネーター」が週4日（1日5時間）勤務し、地域人材との連絡・調整、学校運営協議会開催の事務、学校運営協議会が提案する各種教育活動の補助などを行っている。

23年度以降は人的な措置は難しいと考えられるため、以下の内容を検討している。

- ・ 児童の活動や地域とのかかわりを継続させるためのボランティアリーダーの育成
- ・ 地域人材との連絡・調整、学校運営協議会開催の事務、学校運営協議会が提案する各種教育活動などに関する業務の分担（教頭、教務、地域担当）
- ・ PTAとの協力体制の構築

- 持続可能な組織づくり、地域への積極的な呼びかけ・啓発

コミュニティ・スクールの取組を活性化させることは大切であり、今後も力を入れて取り組んでいきたいが、持続可能な組織にするために、以下の点を留意することが大切と考えている。

- ・ 地域やPTA関係者で学校に協力してくれる方を中心に、コミュニティ・スクールの取組を引き継ぐ後継者を養成すること。
- ・ コミュニティ・スクールの取組を活性化させるためには、イベント的な取組も必要だが、地道な活動、無理のない活動を積み重ねること。
- ・ 地域や地域の団体の中心人物とのかかわりを持ち続け、連絡を欠かさないこと。
- ・ 学校が「地域の公民館」となるよう、学校の行事に地域を巻き込む活動を仕組むとともに、地域の会議や会合を学校で開いてもらえるような呼びかけ・啓発を行うこと。

II 学校運営協議会の実際の運営状況等

1. 学校運営協議会の運営状況

(平成20年度実績：年7回開催)

回	年月日	議 題 等
1	H20. 4. 28	委員任命、会長・副会長選出、学校経営方針、学校運営協議会・コミュニティ・スクールについて（活動計画等）、委員会別協議
2	H20. 5. 20	各委員会の活動計画、委員会別協議
3	H20. 7. 3	各委員会の活動報告、1学期学校評価委員会（学校関係者評価）、委員会別協議
4	H20. 9. 10	各委員会の活動計画、危険箇所マップ、委員会別協議
5	H20. 12. 4	各委員会の活動報告、2学期学校評価委員会（学校関係者評価）、委員会別協議
6	H21. 1. 20	各委員会の活動計画、平成21年度学校経営方針、委員会別協議
7	H21. 3. 11	各委員会の活動報告、平成21年度学校経営方針、3学期学校評価委員会（学校関係者評価）、委員会別協議
<p>(補記)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校学校運営協議会は、基本方針等の承認や学校運営についての意見を出すだけでなく、実際に学校と連携した取組を行うことが大切だと考えている。 そのための実働組織として、「授業・訓育支援委員会」「生活環境・安全支援委員会」「コミュニティ活性化委員会」の3つの委員会を設け、学校運営協議会委員（19名）は、いずれかの委員会に所属して活動している。 ※資料1、3参照 		

2. 学校運営協議会に関する基本情報等

○ 学校運営協議会を置く学校としての指定期間（年数）※規則上

2年

○ 学校運営協議会の委員の任期（年数）※規則上

2年

○ 学校運営協議会の委員の改選方法の工夫

- 学校運営協議会の組織や編成を見直し、その組織や運営のために必要な方を地域や各種団体から推薦してもらっている。
- 地域の方で学校や児童とかかわりがある方、過去にかかわりがあった方などに依頼している。

○ 学校運営協議会の議事内容の公開状況

- 議事は記録して、次回の運営協議会の資料に掲載しているが、Webページなどによる一般への公表は行っていない。
- 現在、Webページには、学校運営協議会の活動や地域と連携した取組などについて紹介している広報誌「椿西コミュニティ」に掲載している。今後、必要があれば議事も掲載していきたい。

3. 学校の教育活動に協力する仕組み（PTA、学校支援地域本部事業等）との連携状況

○ PTAとの連携

- ・ 学校運営協議会の委員の中にPTA執行部5名（会長、副会長、書記）も入っており、PTA活動との連携や共通理解を図っている。 ※ 資料1、3参照
- ・ PTAの各種行事（PTAバザーやPTA奉仕作業）に学校運営協議会の委員も参加している。

特に、PTAバザーでは、学校運営協議会が児童の得意なことを披露する「椿西っ子わくわくステージ」を主催し、PTAバザーを盛り上げた。 ※ 資料6参照

○ 学校支援地域本部事業との連携

- ・ 平成20年度から学校支援地域本部事業の指定を受け、本年が2年目である。
- ・ 地域コーディネーターが週4日勤務し、地域との連絡・調整を行っている。地域コーディネーターは学校運営協議会の委員になっており、学校運営協議会が提案した各種の教育活動等、コミュニティ・スクール関係の取組にも積極的にかかわっている。

4. 学校運営に対する意見を聞く他の仕組み（学校関係者評価、外部アンケート等）との連携状況

- 学校運営協議会内に学校評価委員会を設けており、年間3回の学校関係者評価を行っている。

- 2年ごとに、地域、保護者の方を対象に、コミュニティ・スクールの取組についてのアンケートを行うことにしている。

なお、これまでに2回（平成19年2月、21年2月）実施した。生活習慣や学力、地域社会・安全の点について、2年前と比較することにより、コミュニティ・スクールの取組を通して向上した力や課題について検証することができた。

※ 本文6【児童側】参照

5. その他

〔添付資料〕

- 資料1 椿西小学校コミュニティ・スクール全体図
- 資料2 平成21年度コミュニティ・スクール活動計画
- 資料3 学校運営協議会について、平成21年度学校運営協議会年間計画
- 資料4 椿西小学校つばきサポーターズ新規募集のお知らせ
- 資料5 募集 わくわく水曜日
- 資料6 PTAバザーを盛り上げよう！「椿西っ子わくわくステージ」のお知らせ

椿西小学校 コミュニティ・スクール 全体図



平成 21 年度 コミュニティ・スクール 活動計画

	プログラム名	実践計画
1	萩・福祉複合施設かがやきの高齢者との交流	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な学習の時間に位置づけ、全学年の児童が交流の時間を持つ。 ○ 第 3 学年の総合的な学習の時間では重点的に学習を進める。 ○ 道徳との関連を図り、総合単元的な道徳学習を進め、心の教育を推進する。
2	田んぼの会との活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 勤労体験より、つばき田んぼの会のねらいの達成を図る。 自然を大切にす心情、勤労の尊さや喜び、助け合いと協力、根気、ふるさとを愛する心 1年さつまいも 2年さつまいも・落花生 3年大根 4年ひょうたん・とうもろこし 5・6年米
3	椿寿会の方との交流	<ul style="list-style-type: none"> ○ お年寄りの方の知恵や体験を学ぶ学習の推進。 (戦争体験、昔の暮らし、昔の遊び、しめ縄づくり、家庭科の裁縫など)
4	「萩学」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「萩で萩を学ぶ」ふるさと教育の推進を図る。 ○ 「萩」を知り、ふるさと「萩」を大切に思い、「萩」を語れる子どもの育成。 ○ ふるさと萩の教材開発。 夏みかん、蒲鉾、萩焼、萩の昔話、郷土料理、人物吉田松陰、高杉晋作、井上勝など、史跡(大照院、萩往還など)
5	地域の活動への児童、教職員の参加・協力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 萩イルミネフェスタへの児童の参加、協力。 ○ 椿西校区「つばき訪問駅伝」への教職員・児童チームの参加、協力。
6	ホームページによる情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学級のホームページを作成し、各学級の様子を知らせる。 ○ コミュニティ関連行事などの様子をホームページで公開する。
7	椿保育園との協力・交流	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育園の先生を招いての授業公開、共同授業の実施。 ○ 保育園での研修。保育士体験。 ○ 一日入学の工夫。
8	萩東中学校との協力・交流	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の吹奏楽クラブを招いての演奏 (PTAバザー)。 ○ 生徒指導面における中学校との連携。
9	校舎の特色を生かした授業	<ul style="list-style-type: none"> ○ オープンスペースの効果的な活用による授業の展開。 ○ 広いウッドデッキの活用。 ○ PC コーナーでのコンピュータを活用した情報教育の推進。
10	学校の地域開放の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民による地域開放エリアの積極的活用の推進。 ○ 地域住民向け図書の貸し出し。(岡崎文庫の紹介)
11	地域住民と協力した学校美化活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ つばきサポーターズ(保護者、地域の学校支援ボランティアとの協働による花壇づくり、花の管理)。 ○ 23年度山口国体に向けた花いっぱい運動の推進 ○ 地域人材(お花ボランティア)の活用。
12	コミュニティだよりの発行	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年6回コミュニティだよりを発行。学校や地域エリアでの個人や団体の活動を紹介し、コミュニティ・スクールに対する理解と啓発を図る。
13	地域の意見を取り入れながらつくる学校評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校評価委員会による学校関係者評価の実施。 ○ 地域・保護者の声を学校運営に生かす学校評価の工夫。
14	萩市文化・生涯学習課との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月1回(水曜日)に実施する放課後子ども教室。(わくわく水曜日) ○ 地域開放エリアを活用したコンピュータ講座、萩雑学セミナーなどの実施。
15	立哨を通じた交通安全教育、挨拶の奨励	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の方・保護者による交通ルールの指導。 ○ 明るい挨拶の奨励。
16	登下校の安全を守る活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登下校時の交通安全指導。 ○ 椿サポーターズ(安全見守りボランティア)による定期的な校区内パトロールの実施
17	地域の人と協力して実施するクリーン作戦	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちが学ぶ学校を綺麗にするとともに、地域の方との交流を図る。 ○ 子どもたちによる地域の方との交流の企画。
18	家庭と連携した望ましい生活習慣づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ ノーテレビ、ノーゲームデーの実施。 ○ 「早寝・早起き・朝ご飯」の奨励。
19	地域人材の登録と授業や学校行事への協力	<ul style="list-style-type: none"> ○ つばきサポーターズへの登録の呼びかけ。各ボランティアへの参加要請。 ○ 授業や学校行事への協力、参加。

学校運営協議会について

コミュニティスクール（地域運営学校）

保護者・地域住民の要請を学校運営に反映させる学校経営
（信頼される学校づくり）

学校運営協議会

- 学校経営基本方針等の承認
- 学校運営についての意見
- 学校運営への参画

☆ 子育ての目標を、学校・家庭・地域が共有する。

☆ 学校・家庭・地域の役割を明確にし、互いに補完し合いながら役割を果たしていく。

1 運営協議会の実働組織（運営推進委員会）を設置する。

運営推進委員会は、PTA、地域、学校代表の委員が所属する3つの委員会を設ける。

授業・訓育支援委員会 (6名)	椿寿会、かがやき、PTA副会長2名、教務主任、地域コーディネーター
生活環境・安全支援委員会 (6名)	元PTA会長、つばき見守り隊、田んぼの会、PTA会長、PTA書記、教頭
コミュニティ活性化委員会 (7名)	元PTA副会長、自治会代表、椿保育園、萩東中、PTA副会長（母親代表）、校長、地域担当

2 各委員会で取組の計画を立て、実践する。

- (1) 委員会の課題や方向性を検討する。
- (2) 課題解決への方策を考え、年間計画を立てる。
- (3) 計画に従って委員会ごとに具体的な実践計画を立て、取組を行う。
- (4) 各委員会の経過報告。今後の取組についての全体協議。各委員会で取組の改善。
- (5) さらなる実践。

3 学校評価委員会を開催し、学校の取組を評価する。

- (1) 学校の自己評価に対する質疑応答、意見を述べる。
- (2) 学校の自己評価に対する評価を行う。（学校関係者評価）

4 運営協議会の取組を情報公開する。

- (1) 「椿西コミュニティ」を発行する。(年間6回)
- (2) ホームページに取組を掲載する。(学校運営協議会の活動・協議、学校関係者評価の結果等)

5 学校運営協議会委員 (計19名)

	氏名		所属委員会
会長		元PTA会長	生活環境・安全支援
副会長		自治会代表	コミュニティ活性化
委員		椿寿会	授業・訓育支援
〃		田んぼの会会長	生活環境・安全支援
〃		元PTA副会長	コミュニティ活性化
〃		かがやき	授業・訓育支援
〃		交通指導	生活環境・安全支援
〃		椿保育園 園長	コミュニティ活性化
〃		萩東中学校 教諭	コミュニティ活性化
〃		PTA会長	生活環境・安全支援
〃		PTA副会長	授業・訓育支援
〃		PTA副会長 (母親代表)	コミュニティ活性化
〃		PTA副会長	授業・訓育支援
〃		PTA書記	生活環境・安全支援
〃		椿西小学校 校長	コミュニティ活性化
〃		椿西小学校 教頭	生活環境・安全支援
〃		椿西小学校 教務	授業・訓育支援
〃		椿西小学校 地域担当	コミュニティ活性化
〃		椿西小学校 地域コーディネーター	授業・訓育支援

平成21年度 学校運営協議会 年間計画

	内 容	運営協議会に関わる行事、その他
4月	第1回学校運営協議会 4/23 (木) <ul style="list-style-type: none"> ・ 21年度学校経営方針の確認 ・ 学校運営協議会について ・ 各委員会の活動内容・計画の検討 	入学式(4/8) コミュニティだより発行
5月 ～ 6月	各委員会による活動	
7月	第2回学校運営協議会 7/2 (木) <ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員会の1学期活動の報告 ・ 第1回学校評価委員会 	コミュニティだより発行(全戸配布)
8月	各委員会による活動	
9月	第3回学校運営協議会 9/10 (木) <ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員会の2学期活動内容・計画の決定 ・ 全体での共通理解 	秋季大運動会(9/20) コミュニティだより発行
10月 ～ 11月	各委員会による活動	チャレンジ遠足(10/23)
12月	第4回学校運営協議会 12/3 (木) <ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員会の2学期活動の報告 ・ 第2回学校評価委員会 	コミュニティ参観日、PTAバザー(11/1) コミュニティだより発行(全戸配布)
1月	第5回学校運営協議会 1/21 (木) <ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員会の3学期活動内容・計画の決定 ・ 全体での共通理解 ・ 22年度学校経営方針の提案 	コミュニティだより発行 ふれあいもちつき大会(1/29)
2月	各委員会による活動	
3月	第6回学校運営協議会 3/11 (木) <ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員会の3学期活動の報告 ・ 22年度学校経営方針の提案・承認 ・ 第3回学校評価委員会 ・ 22年度学校運営協議会の活動について 	コミュニティだより発行(全戸配布) 卒業式(3/19)

つばきサポーターズ



新規募集のお知らせ

つばきサポーターズとは椿西小学校の授業や行事、さまざまな教育活動や環境整備活動などに協力して下さるボランティアの方（保護者、地域の方）です。

今回は、**新規に協力して下さる方**を募集します。



募集に際してのお願い



- ◆ 各ボランティアへの参加は、時間に都合がつく範囲で構いません。
- ◆ 各ボランティアに参加を希望される方は、下の申込書に記入のうえ、椿西小学校（担当：教頭）に提出してください。（1年中受け付けています。）

連絡先 椿西小学校 25-2686（担当：教頭（野



昨年度「つばきサポーターズ」に登録しておられた方へのお願い

今回、登録する必要はありません。昨年度登録していないボランティアに参加を希望される方は、下の申込書に記入して提出してください。

退会を希望される方は、教頭まで連絡をお願いします。

----- 切り取り -----

つばきサポーターズ 新規登録申込書

	ボランティア名	参加希望（○を記入してください）
①	花いっぱい、緑化ボランティア	
②	学校清掃ボランティア	
③	読み聞かせボランティア	
④	安全見守りボランティア	
⑤	校舎の補修ボランティア	
⑥	校外学習引率等ボランティア	

※ 複数○をされても構いません。たくさんの方の参加をお待ちしております。

住 所		氏 名	
電話番号		携帯電話番号	
e-mail		携帯 e-mail	

この情報はつばきサポーターズ登録、連絡関係以外では活用しません。

① 花いっぱい、緑化ボランティア

■内容 花壇やプランターづくりなど、花いっぱい活動の推進・校庭や花壇などの草取りなど

■時期 春（6月～） 秋（11月～）
学期1回程度



② 学校清掃ボランティア

■内容 校舎内、手洗い、トイレ、校庭等の清掃（児童の手が届きにくい箇所）

■時期 各学期1回程度
自由参観日（1/21）



③ 読み聞かせボランティア

■内容 各クラスでの本の読み聞かせ（本読み姫との協力）

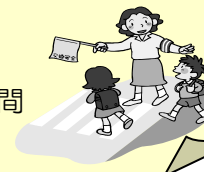
■時期 毎週木曜日 8:15～
15分程度



④ 安全見守りボランティア

■内容 登校時、下校時の安全パトロール、交通指導など

■時期 朝、夕方の都合のよい時間



⑤ 校舎の補修ボランティア

■内容 校舎の補修や棚づくり等の大工仕事全般

■時期 各学期1回程度
長期休業中



⑥ 校外学習引率等ボランティア

■内容 校外学習における引率の補助など
チャレンジ遠足の手伝い

■時期 生活科・総合的な学習の時間、社会科・理科等の学習時（年間15時間程度）
チャレンジ遠足（10/23）



募集

わくわく水曜日

毎月第3水曜日、友達や地域の人と楽しく活動しませんか！

主催：萩市立椿西小学校学校運営協議会
コミュニティ活性化委員会

開催日：毎月第3水曜日15:00～16:45 第1回は 5月27日(水)
～ 年間を通した様々な講座（下校せず学校開放エリアで活動）～

**クッキング、スポーツ、木工、クリスマスリース作り、
科学工作**など楽しい体験活動を計画しています。

子どもたちに豊かな体験と規範意識を！そして、安全安心な水曜日の放課後を！

- 実施場所 萩市立椿西小学校ほか
- 申込み方法 下記の申込用紙に必要な事項を記入して、担任の先生へ。
- 参加定員 40人（定員になりしだい締め切ります。）◎締切日4月24日（金）
- 年会費 1,000円
（決定後、集金します）

- ・ 保険代金
- ・ 材料費等

- 指導者 地域の方
・ つばきサポーターズ、生活改善実践グループ、生涯学習グループ 等

- 問い合わせ先
萩市立椿西小学校学校運営協議会
コミュニティ活性化委員会事務局
25-2686（野口、石田、岩本）

1講座の大まかな流れ

- 下校後、そのまま家庭科室（和室）に集合
- 15:00 わくわく水曜日開始
 - あいさつ、出欠席の確認
 - 今日の講座の説明等
 - 15:10 講座開始
 - いろいろな学年の友達や地域の人たちとの学校ではできない楽しい体験活動
 - 16:35 講座終了
 - 活動の振り返り、次回の予告や連絡
 - あいさつ
 - 16:45 わくわく水曜日終了

..... 切り取り線

参加申込書

参加児童氏名	_____年 組	氏名	_____
保護者氏名	_____	印	（児童年月日： 年 月 日生）
緊急連絡先	（ _____ ）		

PTAバザーを盛り上げよう!



「椿西っ子わくわくステージ」のお知らせ

主催：椿西小学校運営協議会

小学生の皆さん、自分の得意なことや習っていることをPTAバザーの時、体育館のステージで発表しませんか。

個人でもグループでもOKです。

ダンスやピアノ、歌、手品、スポーツなど、バザーに来られたお客さんや友達の前で自分を表現してみましょう。



◆ 日時 10月26日(日) 13:00~14:00

◆ 場所 体育館ステージ

◆ 対象 誰でも参加できます 1人(1グループ) 3分~10分ぐらい

◆ こんなことを発表してください(例)

ダンス、踊り、バレエ、ヒップホップ、一輪車、
ピアノ、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、歌、カラオケ、
リフティング、柔道、空手の型、竹馬、お手玉、
手品、本読み、ものまね、漫才、コント、一発芸 など



参加したい小学生は、下の申込書に記入して、10月10日(金)までに担任の先生に提出してください。たくさんの参加をまっています



お知らせ

PTAバザーに、消防車がやってきます。
12:30から運動場で放水訓練をしますの
で、楽しみにしておいてください。

キリトリ

「椿西っ子わくわくステージ」参加申込書

参加者の名前	発表する内容	発表で使うもの、道具など

平成21年度コミュニティ・スクール推進協議会（長野会場）

地域と育てる生き生き椿西っ子

椿西小学校コミュニティ・スクールの推進

山口県萩市立椿西小学校

はじめに

萩市立椿西小学校

よく学びよく考え、
元気いっぱい、ふるさとに笑顔輝く椿西っ子を育てる

椿西小マスコット
“ピカットくん”

目指す児童像
 よく学ぶ子
 よく考える子
 元気いっぱいの子
 ふるさとに笑顔輝く子

- 阿武川を形成するあたりの南岸沖積平野と谷筋
- 古くは農村地域、江戸時代は毛利氏の城下町萩の玄関口

明治6年設立
平成18年3月 校舎新築移転

平成17・18年度
文部科学省指定 コミュニティスクール推進事業推進校
平成18～22年度
萩市教育委員会 学校運営協議会設置校

児童数：267人、教員数：20人
学校運営協議会の委員数：19人

はじめに

平成18年度、校舎新築移転と同時にコミュニティ・スクールに指定される

地域開放エリア

地域開放玄関 PCコーナー

1 学校運営協議会設置までの経緯、設置後の改善状況

1 「学校運営協議会を置く学校」指定前の状況

- 教育活動を日常的に支援するグループの存在
「田んぼの会」… 栽培活動支援のおやじの会
「本読み姫」… 読み聞かせボランティア

田んぼの会「大根の収穫」 本読み姫「読みきかせ」

- なかなか改善できなかった課題
 - ・ 地域の中でできないあいさつ
 - ・ 気になる言葉遣い
- 地域開放型の新校舎計画の検討、有効活用

1 学校運営協議会設置までの経緯、設置後の改善状況

2 学校運営協議会の設置を決めた理由

- 地域の願いや声を、学校運営協議会の委員としての意見に
- 保護者代表と地域代表の委員に一定の権限を
 - ⇒ 三者（学校、保護者、地域）の協働体制をより強めたい
- 「地域の子は地域で育てる」意識の啓発と具体的な実践
 - ・ 改善策の本音での協議
 - ・ 地域で推進し、学校改善へ
- 本協議会が中心となった新校舎の有効活用の具体化
 - ・ 新校舎の地域開放エリアの有効活用方との企画・運営
 - ・ 保護者や地域への「開かれた学校づくり」の啓発

1 学校運営協議会設置までの経緯、設置後の改善状況

3 学校運営協議会の設置方針の決定後から設置までの課題とその対応状況

- 学校運営協議会の権限に関する具体的なすり合わせ
 - 人事に関する申し出（校長ヒヤリングとは別に） ⇒ 学校運営協議会会長が市教委教育長に直接、意見を述べる場の設定（手続きは、規則に盛り込む）
- 教職員の意識啓発と共通理解
 - コミュニティ・スクールに対する理解度の個人差 ⇒ 校内研修会による意見交換や共通理解
 - 「コミュニティ・スクール設置の手引」「コミュニティ・スクール推進フォーラム資料」を参考に
- 学校運営協議会委員になることへの不安
 - 一定の権限を持つことへの重大さと不安 ⇒ その場での委員決定は保留後日の正式な依頼で承諾

学校運営協議会設置までの経緯、設置後の改善状況

4 学校運営協議会が学校や教育委員会に対してこれまでに提案してきた主な意見等

【学校運営の基本的な方針に対するもの】

- 地域のよさを学んでほしい願いがこもった学校教育目標の設定

【学校運営に関する事項に対するもの】

- 椿西校区の地域のよさの実感
- 通学路の整備、安全確保
- 学校、保護者、地域が一緒になった「あいさつ運動」の充実

【学校の職員の採用その他の任用に関する事項に対するもの】

- 社会教育主事の資格を持ち、社会教育に関する経験豊富な教員の転入

学校運営協議会設置までの経緯、設置後の改善状況

5 学校運営協議会が提案した意見を踏まえた、学校や教育委員会の具体的な取組

【学校運営に関すること】

- 19年度学校教育目標に、地域に関する箇所を盛り込む「よく学び、よく考え、元気いっぱい、ふるさとに笑顔輝く椿西っ子を育てる」
- 新たな通学路の整備 … 手すり付き舗装路

【教育活動に関すること】

- 地域の方々の協力を得た栽培活動
- ゲストティーチャーとの授業実践
- 地域に向向いての活動
- 定期的に校門に立つあいさつ運動

【教職員の任用に関すること】

- 社会教育主事経験のある40代教員の転入（19年度人事）

学校運営協議会設置までの経緯、設置後の改善状況

5 学校運営協議会が提案した意見を踏まえた、学校や教育委員会の具体的な取組

地域の方々の教育活動への参加例

 どろんご遊び	 朝顔の種植え	 トモロコシの収穫
 戦争体験を聞く授業	 乳幼児とのふれあい	 裁縫指導

学校運営協議会設置までの経緯、設置後の改善状況

5 学校運営協議会が提案した意見を踏まえた、学校や教育委員会の具体的な取組

地域へ出向いての活動例

 萩焼まつり	 イルミネフェスタ	 子育てまつり
 萩駅前花壇の花植え	 紙芝居発表	 椿地区駅伝

学校運営協議会設置までの経緯、設置後の改善状況

6 学校運営協議会の設置後に感じられる変化（成果）

【学校(教職員)側】

- 地域とかがわってきたこれまでの取組を基盤にしなが、無理なく深化・充実・発展
- 地域のニーズの把握・反映、地域の教育力や創意・工夫を活かした特色ある学校づくり
- 学校運営協議会で出された具体的事項に対する気づきや意見をもとにした学校運営の見直し、改善
- 学校に協力し、児童のために活動を行うという意識を持つ委員

【教育委員会側】

- 学校の総合的な教育力向上の可能性
- 外部の人が校内に入ることに抵抗をもつ教員の意識改革の必要性
- 学校と地域住民等の相互理解のあり方やその方法
- 地域住民等による多様な協力・支援が、どの学校でも日常的に無理なくできるような持続性・安定性のある仕組みづくり

学校運営協議会設置までの経緯、設置後の改善状況

6 学校運営協議会の設置後に感じられる変化（成果）

【児童側】

- 地域の事象に関心をもち、地域に誇りと愛情をもつ児童
- 表現力の向上、社会のルールやマナーを守る意識の向上
- 児童を対象とした活動や催しの企画により、地域とのかかわりや表現する力を伸ばす

<わくわく水曜日>

- ・ 毎月第3水曜日の午後、放課後子ども教室
- ・ コミュニティ活性化委員会が企画・運営

<椿西っ子わくわくステージ>

コミュニティ参観日で児童が得意なことを発表するステージ


地域の方とかがわる授業、ミニ音楽会、PTAバザー等

I 学校運営協議会設置までの経緯、設置後の改善状況

6 学校運営協議会の設置後に感じられる変化（成果）

【保護者側】

- 保護者も地域の方とのかかわりが増え、地域への理解が進んだ
- 児童は地域の方から支えられているという保護者の思いの増加
- 保護者の1/3が、学校の活動を支援する「つばきサポーターズ」に参加




【地域側】

- 地域と学校のかかわりの体系化、密接になった横（地域の団体や個人）の連携
- 学校の教育活動や児童への理解の深まり
- 児童の良い所を見つけ、学校に報告してくれる地域の方の増加
- 「つばきサポーターズ」に地域の方も参加

I 学校運営協議会設置までの経緯、設置後の改善状況

7 学校運営協議会の設置後に抱えている課題

- 予算面、人材面（文科省の指定終了後は、厳しい状況）
 - ・ 19年度 → PTA会計から予算の補助
 - ・ 20～22年度 → 学校支援地域本部事業の指定を受け、予算面や人材面（地域コーディネーター）は円滑に運営
 - ・ 23年度から → 運営に不安
- 失敗したもの、継続できなかったもの
 - ・ コミュニティの日（施設の開放、地域の方による図書館駐在）
 - ・ コミュニティ・スペシャルデー（保護者や地域の方が、1日中学校で様々な体験を行う）
 - ・ 3つの推進委員会（地域部会、家庭部会、学校部会）
 - ・ わくわく授業体験（保護者や地域の方が、小学校の授業を体験）



I 学校運営協議会設置までの経緯、設置後の改善状況

8 課題の解決に向けた今後の取組予定


- 予算面と人材面の課題

【予算面】

 - ・ 自治体も財政的に厳しい現状
 - ・ 23年度以降への対応（PTA補助など）

【人材面】（23年度以降の難しい人的措置）

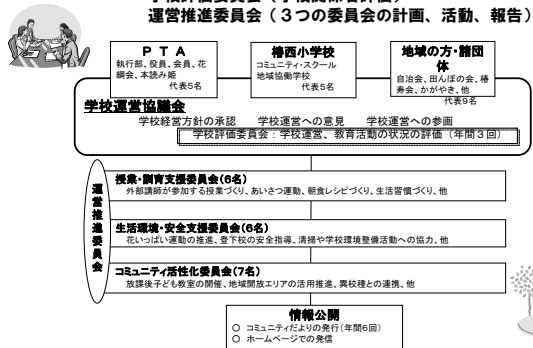
 - ・ ボランティアリーダーの育成
 - ・ コミュニティに関する業務の分担（教頭、教務、地域担当）
 - ・ PTAとの協体制
- 持続可能な組織づくり、地域への積極的な呼びかけ・啓発
 - ・ 地域やPTA関係者で協力してくれる方の後継者の養成
 - ・ 地道な活動、無理のない活動の積み重ね
 - ・ 地域や地域の団体の中心人物とかがわりをもち続ける
 - ・ 学校行事に地域を巻き込む活動、地域の会合を学校で（地域の公民館）



II 学校運営協議会の実際の運営状況等

1 学校運営協議会の運営状況

- 平成20年度一年7回開催
- 議題等 - 学校運営協議会、コミュニティ・スクール活動計画、学校評価委員会（学校関係者評価）、運営推進委員会（3つの委員会の計画、活動、報告）



PTA 執行部、役員、委員、花組会、本読み係 代表5名

椿西小学校 コミュニティスクール 地域協働学校 代表5名

地域の方・諸団体 自治会、町内会の会、椿西会、かがやき、他 代表9名

学校運営協議会 学校経営方針の承認 学校運営への意見 学校運営への参画 学校評価委員会：学校運営、教育活動の状況の評価（年間3回）

運営推進委員会

- 授業・訓育支援委員会(6名) 外部講師が参加する授業づくり、あいさつ運動、朝食レシピづくり、生活習慣づくり、他
- 生活環境・安全支援委員会(6名) 花いっぱい運動の推進、登下校の安全指導、清掃や学校環境整備活動への協力、他
- コミュニティ活性化委員会(7名) 放課後子ども教室の開催、地域開放エリアの活用推進、農校種との連携、他

情報公開

- コミュニティだよりの発行（年間6回）
- ホームページでの発信

II 学校運営協議会の実際の運営状況等

授業・訓育支援委員会

コミュニティティーチャーによる授業支援

- ◆ 地域コーディネーターの設置
 - コミュニティティーチャーの依頼、派遣、連絡・調整など
- ◆ 校外学習引率ボランティアの活用
 - 生活科や社会科、総合的な学習の時間における授業の補助や引率



あいさつ運動の実施

椿西小学校の北門、南門であいさつ運動に取り組んでいる。



朝食レシピの紹介


コミュニティだよりで朝食の作り方を紹介し、「早寝・早起き・朝ご飯」を推奨している。

3 学校運営協議会におけるPTAのかかわり

生活環境・安全支援委員会


花いっぱい運動の推進

23年度に本校体育館も会場になる山口国体に向けて、ボランティアを中心に花づくりを行っている。



安心・安全な学校環境づくり

- ◆ 登下校の安全見守り
 - 新たにユニフォームを新調し、登下校の安全を見守っている
- ◆ 危険箇所マップの見直し
 - 3年前に作成した危険箇所マップを見直すため校区内を点検した。
- ◆ 市教委への陳情
 - 学校正門前の通路を安全に通行することができるよう、市教委に要望した



3 学校運営協議会におけるPTAのかかわり

コミュニティ活性化委員会

放課後子ども教室(わくわく水曜日)の開催

- ◆ 第1回(5月27日)
 - 開講式、ホットケーキづくり
- ◆ 第2回(6月17日)
 - ニュースポーツ
- ◆ 第3回(7月15日)
 - 紙すき



わくわく椿西っ子ステージの開催

10月に行われたコミュニティ参観日に、児童が得意なことを表現する「わくわく椿西っ子ステージ」を開催した。



II 学校運営協議会の実際の運営状況等

2 学校運営協議会に関する基本情報等

- 学校運営協議会を置く学校としての期間 … 2年
- 学校運営協議会の委員の任期 … 2年
- 学校運営協議会の委員の改選方法
 - ・ 必要な方を地域や各種団体から推薦
 - ・ 学校や児童にかかわりのある方、過去にかかわりのあった方などに依頼
- 学校運営協議会の議事の内容
 - ・ 広報誌「コミュニティだより」をWebページに掲載



II 学校運営協議会の実際の運営状況等

3 学校の教育活動に協力する仕組み(PTA、学校支援地域本部事業等)との連携状況

【PTAとの連携】

- 学校運営協議会の委員の中にPTA執行部5名(会長、副会長、書記)が入り、PTA活動との連携や共通理解を行っている。
- PTAの各行事に学校運営協議会の委員も参加
- ☆ 特に、PTAバザーでは、学校運営協議会が「椿西っ子わくわくステージ」を主催



II 学校運営協議会の実際の運営状況等

3 学校の教育活動に協力する仕組み(PTA、学校支援地域本部事業等)との連携状況

【学校支援地域本部事業との連携】

- 平成20年度から指定を受け、本年が2年目
- 地域コーディネーターが週4日勤務
 - ・ 地域との連携・調整
 - ・ 学校運営協議会の委員として、学校運営協議会が提案した各種教育活動等、コミュニティ・スクール関係の取組に積極的にかわる

II 学校運営協議会の実際の運営状況等

4 学校運営に関する意見を聞く仕組み(学校関係者評価、外部アンケート等)との連携状況

- 学校運営協議会内に学校評価委員会を設け、年間3回の学校関係者評価を実施
- 2年ごとに地域、保護者、児童、教職員を対象に、コミュニティ・スクールの取組についてのアンケートを実施
 - ・ 内容 … 生活習慣や学力
地域社会・安全
 - ・ 結果 … 向上した力や課題について検証



おわりに

